

病害虫発生予察情報

5月月報

令和8年6月12日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2026年 5月	気温(°C)						降水量 (mm)		日照時間 (h)	
	最高		最低		平均		平年比		平年比	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	(%)	本年	(%)
上旬	25.3	2.5	12.7	0.2	19.0	1.6	55.5	165.7	73.4	122.7
中旬	28.4	5.2	14.7	1.2	21.1	2.9	2.0	4.6	107.2	197.1
下旬	26.3	1.4	16.4	1.2	21.0	1.2	36.5	64.7	58.7	89.8
平均	26.7	3.0	14.6	0.9	20.4	1.9				
合計							94.0	70.6	239.3	133.2

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

※ 平年差（比）：平年値（1991～2020年の平均値）からの差（比）

<天候概況>

上旬：低気圧や前線と高気圧が交互に通過し、数日の周期で変化した。1日は寒気を伴った気圧の谷の影響で大雨となった。

旬平均気温は高く、旬間日照時間と旬降水量はともに多くなった。

中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、13日は上空の寒気や湿った空気の影響で雷を伴う雨となった。

旬平均気温はかなり高く、旬間日照時間はかなり多く、旬降水量は少なくなった。

下旬：前半は前線や湿った空気の影響で曇りや雨の日が多く、雷を伴った日もあった。後半は高気圧に覆われて晴れの日が多くなった。

旬平均気温は高く、旬間日照時間は少なく、旬降水量は平年並となった。

2 作物生育概況

(1) イネ

6月の田植えに向けて、育苗は順調である。

(2) 野菜類

果菜類：トマト、ナス、キュウリ等果菜類の生育は概ね順調で、例年より早い傾向であった。

葉菜類：コマツナ、ホウレンソウ等葉菜類の生育は順調であった。

イモ類：ジャガイモ、サツマイモ等の生育は順調で、ジャガイモは収穫期を迎えた。

(3) 果樹

カキ:農総研の果樹圃場(灰色低地土)におけるカキ主要品種の開花期と平年差(カッコ内)は以下の通り。全体的に開花始期及び開花盛期ともに、平年値より早かった。

平核無 :開花始 5月2日(-9日)、開花盛 5月6日(-9日)

東京紅 :開花始 5月4日(-12日)、開花盛 5月7日(-12日)

次郎 :開花始 5月3日(-14日)、開花盛 5月8日(-12日)

松本早生:開花始 5月11日(-10日)、開花盛 5月14日(-9日)

(3) 茶樹

4月、5月の気温が高く 降雨もあったため、例年より少し生育が早かった。

大きな病害虫被害はなかった。

3 病害虫の発生概況

(1) 果樹の病害虫

ナシ

赤星病	< 少 >	発生は少なかった。
黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
カメムシ類	< やや少 >	予察灯による誘殺数はやや少なく、フェロモントラップによる誘殺数は平年並みであった。
ナシヒメシンクイ	< 少 >	発生は少なかった。

(2) 茶樹の病害虫

カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 少 >	発生は少なかった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
チャノホソガ	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 野菜の病害虫

ジャガイモ

疫病	< 少 >	発生は少なかった。
ニジュウヤホシテントウ類	< 少 >	発生は少なかった。

トマト (施設・半促成)

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
葉かび病	< 少 >	発生は少なかった。
白ぶくれ症	< 並 >	発生は平年並であった。
オンシツコナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
タバココナジラミ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

キュウリ

褐斑病	< 少 >	発生は少なかった。
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。

べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ナス		
アザミウマ類	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並みであった。
ニジュウヤホシテントウ類	< 少 >	発生は少なかった。
コマツナ		
白さび病	< 少 >	発生は少なかった。
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
カブラハバチ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並みであった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
イチゴ（施設）		
灰色かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギ		
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並みであった。
ネギハモグリバエ	< 少 >	発生は少なかった。
キャベツ		
菌核病	< 少 >	発生は少なかった。
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウガ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
モンシロチョウ	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
野菜共通の病害虫		
ネキリムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(4) 花きの病害虫

花き共通の病害虫

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 並 >	発生は平年並みであった。

(5) 島しょの病害虫

八丈島において、ネットハウス栽培のフェニックス・ロベレニーに炭疽病がやや多く発生した。

その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった。

4 侵入調査

チチュウカイミバエ	<誘殺なし>
ウリミバエ	<誘殺なし>
クインズランドミバエ	<誘殺なし>
ミカンコミバエ種群	<誘殺なし>

病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anzen/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。